第十六回りんり俳句大賞

投句用紙【高校生用】

★応募に関する注意点★

※最大5名の生徒を一組とし、一組につき一人の先生の投句（一句もしくは二句）が必要です。

※本人が創作した未発表の作品とし、一期につき一人二句以内とします。

※作品の著作権は当財団に帰属するものとし、返却はいたしません。

★りんり俳句創作のワンポイントアドバイス★

毎日の生活の中でちょっとした変化に敏感に気づき、それを俳句にするようになると、季語を意識したり、自分の感動と向き合ったり、自然の中で共生の気持ちが自ずと持てるようになるでしょう。平々凡々と毎日を過ごしていたのでは気づけないことがあります。一つ一つの場を少し違った目線で捉えて、先ずは俳句にしてみましょう！新たな発見が得られるはずです。

★次の四月から六月の季語を参考に、自由に俳句を作ってみましょう★

春の朝　風光る　山笑う　水温（ぬく）む　さくら　入学　春日傘　雀（すずめ）の子

新緑（しんりょく）　子どもの日　母の日　更衣（ころもがえ）　父の日　紫陽花（あじさい）　梅雨　さくらんぼ

キリトリ

【投句用紙】　第十六回・一学期の部（高校生用）

●部　門（・高校生　・教師）（○で囲む）　**担当教師名（　　　　）**

（都道府県）（　　　）学校名	学校
ふりがな 氏名	
学年	年
性別	男・女

○出来るだけ漢字を使い、間を空けずに書いて下さい。

締切　二〇一七年六月末日（必着）